



シャーシの取り付け

- シャーシのラックマウント (1 ページ)
- シャーシの接地 (9 ページ)
- シャーシへの AC 電源の接続 (11 ページ)
- シャーシへの DC 電源の接続 (13 ページ)

シャーシのラックマウント

シャーシは4支柱ラックまたは2支柱ラックに取り付けることができます。



警告 ステートメント 1032—シャーシの持ち上げ

怪我またはシャーシの破損を防ぐために、モジュール（電源装置、ファン、カードなど）のハンドルを持ってシャーシを持ち上げたり、傾けたりすることは絶対に避けてください。これらのハンドルには、ユニットの重量を支える強度はありません。



警告 ステートメント 1006—ラックへの設置と保守に関するシャーシ警告

ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。安全を確保するために、次のガイドラインを守ってください。

- ラックに設置する装置が1台だけの場合は、ラックの一番下に取り付けます。
- ラックに複数の装置を設置する場合は、最も重い装置を一番下に設置して、下から順番に取り付けます。
- ラックにスタビライザが付いている場合は、スタビライザを取り付けてから、ラックに装置を設置したり、ラック内の装置を保守したりしてください。

**警告** ステートメント 1047—過熱の防止

火災や身体の傷害のリスクを軽減するため、次の最大推奨周囲温度を超えるエリアではユニットを操作しないでください。

104⁰F (40⁰ C)。

**警告** ステートメント 1048—ラックの安定性

ラックの安定装置を取り付けるか、ラックを床にボルトで固定してから、設置または保守を行う必要があります。ラックを安定させないと、身体に傷害を負う可能性があります。

4 支柱ラックへのシャーシのラックマウント

この項では、4 支柱ラックにルータを設置する方法について説明します。



注意 ラックにキャスタが付いている場合、ブレーキがかかっているか、または別の方法でラックが固定されていることを確認してください。

次の表に、ラックマウントキットに含まれる品目を示します。

表 1: ラックマウントキット

数量	部品
2	ラックマウントブラケット
18	M4 X 6 mm プラス皿ネジ
2	M4 X 6 mm なべネジ
2	ラックマウントガイド
2	ラックマウントガイドレール (4本の深さの異なる支柱に2種類の長さ)
1	アースラグおよびネジ

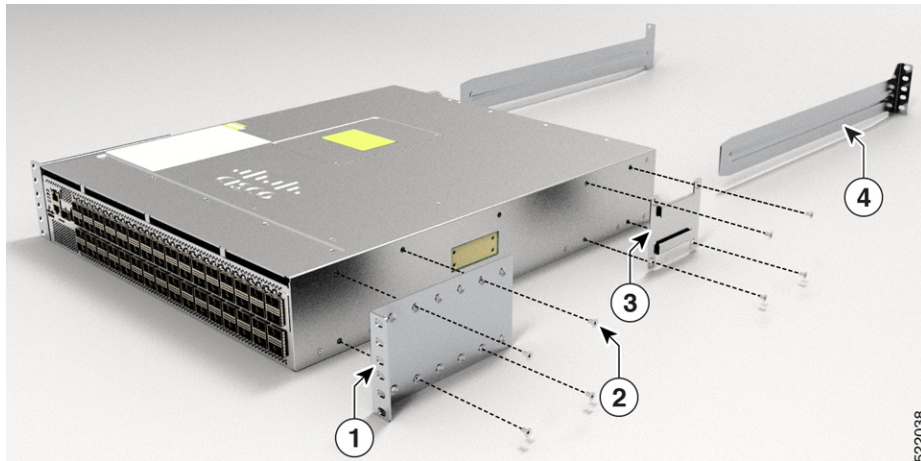
ステップ 1 次の手順で、ラックマウントブラケットをルータに取り付けます。

- a) 次のように、シャーシのどちらの端をコールドアイルに配置するかを決めます。

- ルータにポート側吸気モジュール（赤紫色のカラーリングのファンモジュールと電源モジュール）がある場合は、ポートがコールドアイル側になるようにルータを配置します。
 - ルータにポート側排気モジュール（青色のカラーリングのファンモジュールと電源モジュール）がある場合は、ファンと電源モジュールがコールドアイル側になるようにルータを配置します。
- b) シャーシの側面にラックマウントブラケットを当て、4個のネジ穴をシャーシ側面の4個のネジ穴に合わせてから、4本のM4プラス皿ネジを使用して13.25インチポンド（1.5 N-m）のトルク値でブラケットをシャーシに取り付けます。

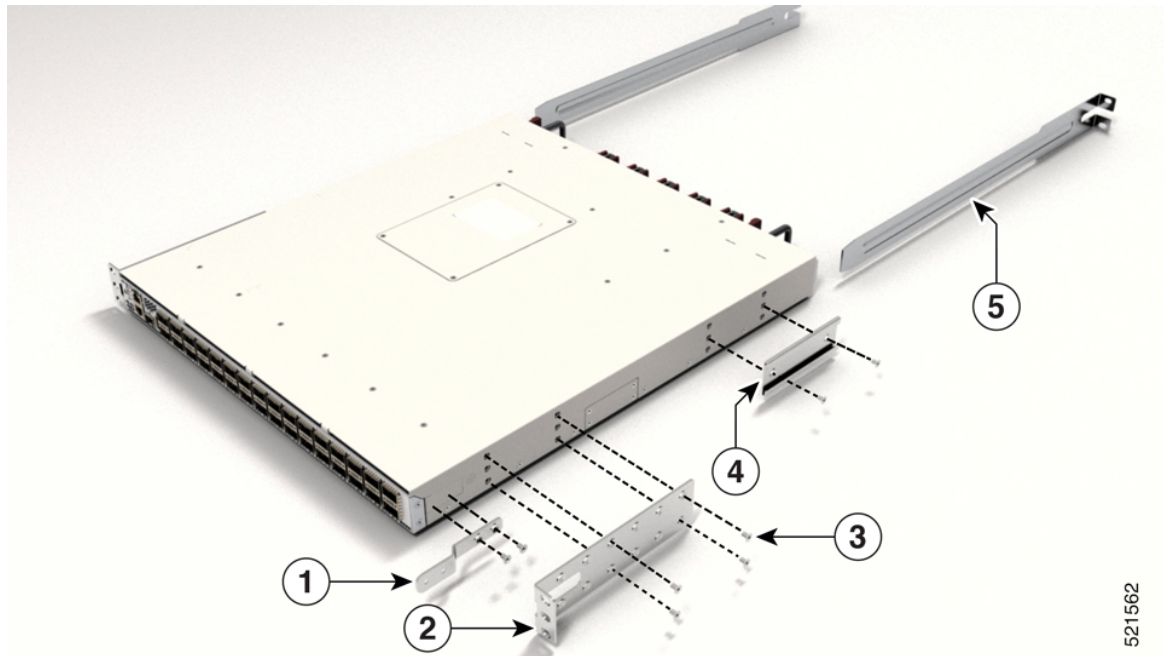
（注） ラックマウントブラケットのネジ穴4個は、シャーシ前面のネジ穴4個に揃えることも、シャーシ背面のネジ穴4個に揃えることもできます。使用する穴は、コールドアイルに配置するシャーシ端によって異なります。

図 1: Cisco 8102のラックマウントブラケット：ポート側吸気



1	ラックマウントブラケット	3	ラックマウントガイド
2	M4 X 6 mm プラス皿ネジ	4	ラックマウントガイドレール

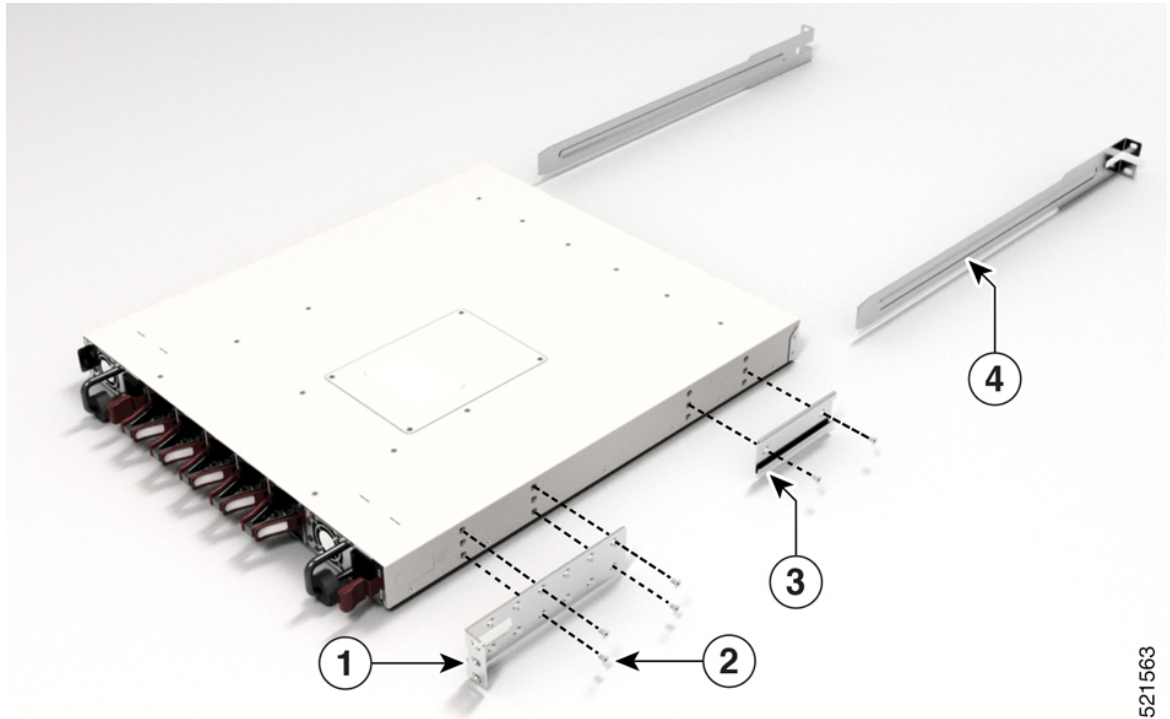
図 2: Cisco 8101-32H のラックマウントブラケット : ポート側吸気



521562

1	接地プレート	4	ラックマウントガイド
2	ラックマウントブラケット	5	ラックマウントガイドレール。レールの方向は、選択したレールに応じて変わります。
3	M4 X 6 mm プラス皿ネジ		

図 3: Cisco 8101-32H のラックマウントブラケット : ポート側排気



521563

1	ラックマウントブラケット	3	ラックマウントガイド
2	M4 X 6 mm プラス皿ネジ	4	ラックマウントガイドレール。レールの方向は、選択したレールに応じて変わります。

c) ステップ 1b を繰り返して、ルータの反対側にもう一方のラックマウントブラケットを取り付けます。

ステップ 2 シャーシに 2 つのラックマウントガイドを取り付けます。

- a) シャーシの側面にラックマウントガイドを当て、2 個のネジ穴をシャーシ側面の 2 個の穴に合わせてから、2 本の M4 フラットヘッドネジを使用してガイドをシャーシに取り付けます。13.27 インチポンド (1.5 N-m) のトルクでネジを締めます。
- b) 同様に、ルータの反対側にもラックマウントガイドを取り付けます。

ステップ 3 ガイドレールをラックに取り付けます。

- a) ガイドレールをラック後方の目的のレベルに合わせ、ラックのねじ山タイプに応じて、4 本の 12-24 ネジまたは 4 本の 10-32 ネジを使用して、ラックにレールを取り付けます。

(注) 角穴のラックの場合は、12-24 または 10-32 ネジを使用する前に、ガイドレールの各取り付け穴の後ろに 12-24 または 10-32 ケージナットを配置する必要がある場合があります。

- b) 同様に、ラックの反対側にもガイドレールを取り付けます。
- c) メジャーおよび水準器を使用して、レールが同じ高さで水平になっているか確認します。

ステップ4 ルータをラックに差し込んで取り付けます。

- a) 両手でルータを持ち、ラック前面の支柱の間に後ろ向きでルータを入れます。
- b) ラックに取り付けたガイドレールにルータの両側の2つのラックマウントガイドを合わせます。ラックマウントガイドをガイドレールに滑り込ませ、ルータをラックの奥までゆっくりスライドさせます。
(注) ルータをスムーズにスライドできないときは、ラックマウントガイドとガイドレールの位置を合わせ直します。
- c) シャーシを水平に保持し、2本のネジ（ラックのタイプに応じて12-24または10-32）を各ラックマウントブラケットの穴に差し込み、ラック取り付けレールのケージナットまたはネジ穴にネジを通します。
- d) 10-32ネジは20インチポンド（2.26 N・m）で締め、12-24ネジは30インチポンド（3.39 N・m）で締めます。

2支柱ラックへのシャーシのラックマウント

ここでは、Cisco 8101-32Hルータをキャビネットまたは2支柱ラックに設置する方法について説明します。



注意 ラックにキャスタが付いている場合、ブレーキがかかっているか、または別の方法でラックが固定されていることを確認してください。

次の表に、ルータに付属のラックマウントキットの内容を記載します。

表2:ラックマウントキット

数量	部品
2	ラックマウントブラケット
8	M4 X 0.7 X 6 mm フラットヘッドネジ

ステップ1 2つのラックマウントブラケットをルータに取り付けます。

- a) シャーシのどちらの端をコールドアイルに配置するかを決めます。
 - ルータにポート側吸気モジュール（赤紫色のカラーリングのファンモジュールと電源モジュール）がある場合は、光ポートがコールドアイル側、ファンモジュールと電源モジュールがホットアイル側になるようにルータを配置します。
 - ルータにポート側排気モジュール（青色のカラーリングのファンモジュールと電源モジュール）がある場合は、ファンと電源モジュールがコールドアイル側、光ポートがホットアイル側になるようにルータを配置します。

- b) ブラケットの耳をシャーシの中央に向けた状態で、4個のネジ穴がシャーシ側面の4個のネジ穴に揃うように、シャーシの側面に前面ラックマウント ブラケットを当てます。
- c) 4本の M4 フラットヘッドネジを 13.25 インチポンド (1.5 N-m) のトルク値で使用して、ブラケットをシャーシに取り付けます。

1	ラックマウントブラケット	4	アースプレートの取り付け位置
2	M4 X 6 mm プラス皿ネジ	5	M4 X 6 mm プラス皿ネジ
3	接地プレート		

図 4 : Cisco 8101-32H のラックマウントブラケット : ポート側吸気

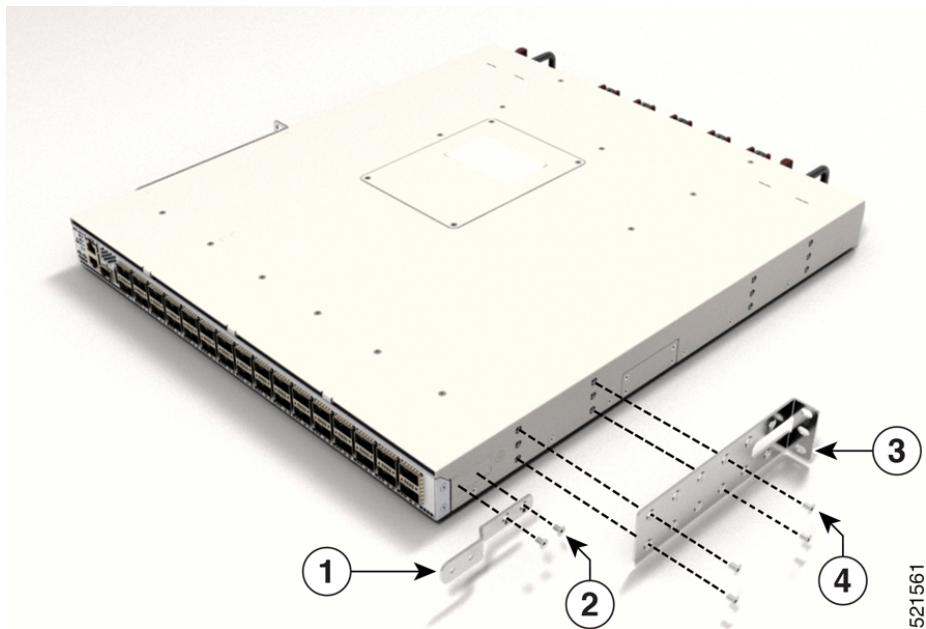
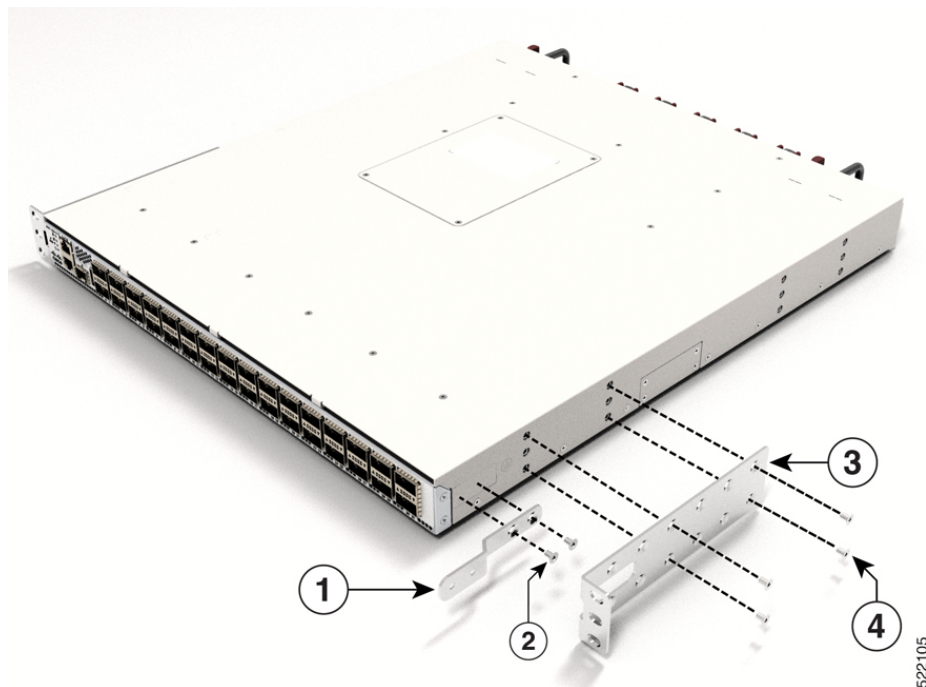


図 5: Cisco 8101-32H のラックマウントブラケット：ポート側排気



1	接地プレート	2	M4 X 6 mm プラス皿ネジ
3	ラックマウントブラケット	4	M4 X 6 mm プラス皿ネジ

- d) ステップ 1b と 1c を繰り返して、ルータの反対側にもう一方のラックマウントブラケットを取り付けます。

ステップ 2 2 支柱ラックにルータを取り付けます。

- 他の人員の手を借りて、ルータを 2 本のラック支柱の間に持ち上げます。
- ラックマウントブラケットが 2 本のラック支柱に接触するまで、ルータを移動します。
- 1 人がシャーシを水平に持っている間、もう 1 人が 2 本のネジ（ラックのタイプに応じて 12-24 または 10-32）を 2 つのラックマウントブラケット（合計 4 本のネジ）に差し込んで、垂直ラックの取り付けレールのケジナットまたはネジ穴にネジを通します。
- 10-32 ネジは 20 インチポンド（2.26 N・m）で締め、12-24 ネジは 30 インチポンド（3.39 N・m）で締めます。

シャーシの接地



警告 ステートメント 1252—機器の接地

この装置は、接地させる必要があります。感電のリスクを軽減するために、電源コード、プラグ、またはその組み合わせは、適切にアース接続された電極、コンセント、または端子に接続する必要があります。



警告 ステートメント 414—アース付きコンセントへの接続

スカンジナビア諸国（デンマーク、フィンランド、アイスランド、ノルウェー、およびスウェーデン）では、アプライアンスをアース付きコンセントに接続する必要があります。



警告 ステートメント 1024

この装置は、接地させる必要があります。絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。



警告 ステートメント 1046

装置を設置または交換する際は、必ずアースを最初に接続し、最後に取り外します。



警告 ステートメント 1025

必ず銅の導体を使用してください。



注意 ラックがすでにアースされている場合でも、シャーシをアースすることが必要です。シャーシには、接地ラグまたは接地プレートを接続するためのネジ穴が2つある接地パッドが付いています。アースラグは、NRTL 認証済みである必要があります。また、銅の導体（線）を使用する必要があり、この導体は許容電流の NEC 規定に適合していなければなりません。



注意 フレームアースの終端時には、はんだ付けラグコネクタ、ネジなし（押し込み）コネクタ、高速接続コネクタ、またはその他の疲弊式コネクタを使用しないでください。

ステップ 1 ワイヤストリッパを使用して、#6AWGアース線の端から 19mm（0.75 インチ）ほど、被膜をはがします。

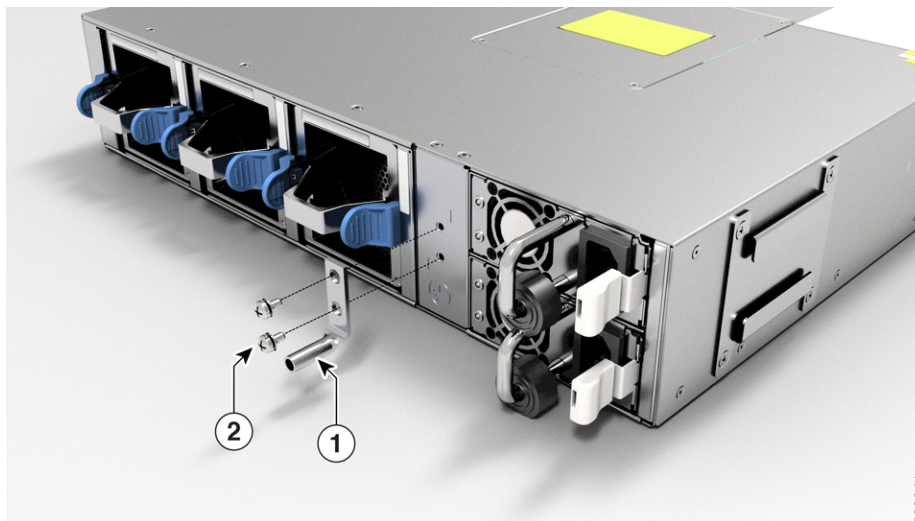
ステップ 2 むき出しになったアースケーブルの端を、アースラグの開放端に差し込みます。

ステップ 3 圧着工具を使用して、アースラグにアースケーブルを固定します。

ステップ 4 アースケーブルを取り付けます。

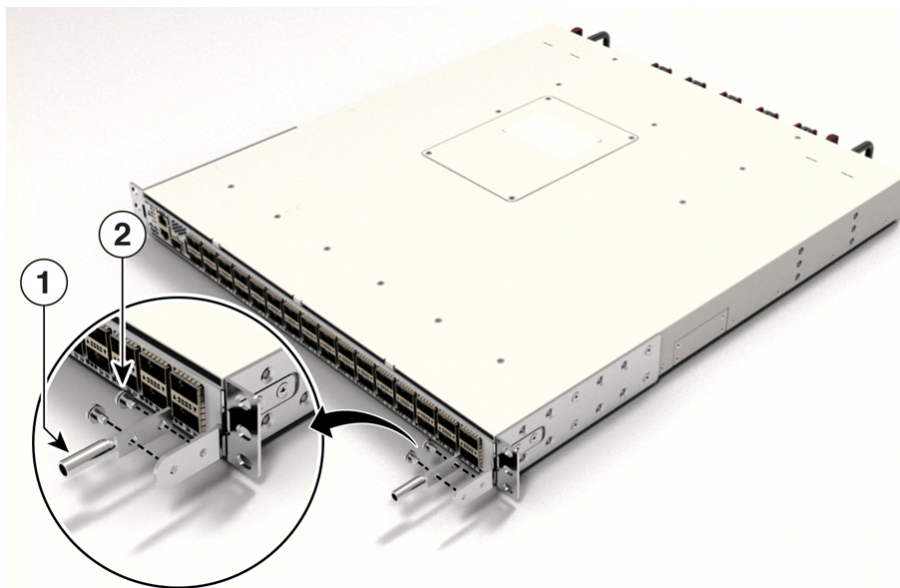
- 指定されたデュアルホールラグコネクタを使用して、シェルフのアースケーブル（#6AWGケーブル）の一端をアースプレートに接続します。

図 6: Cisco 8102 ルータの接地ラグ



522041

図 7: Cisco 8101-32H の接地ラグ



521564

1	アースラグ	2	M4 X 6 mm なべ頭ネジ
---	-------	---	-----------------

ステップ 5 トルク値 13.25 インチポンド (1.5 N-m) で、なべ頭ネジを締めます。

ステップ 6 アース ラグおよびアース線が他の機器の妨げにならないことを確認します。

ステップ 7 接地ケーブルの反対側の端を処理し、設置場所の適切なアースに接続して、シャーシに十分な接地が確保されるようにします。

シャーシへの AC 電源の接続



注意 シャーシは、短絡、過電流、および地絡から保護するために、設置する建物の保護装置に依存します。保護デバイスが地域および国の電気規則に準拠していることを確認してください。



(注) 固定ポートルータの両方の電源スロットに電源モジュールを取り付けることを推奨します。電源モジュールに障害が発生した場合は、新しい電源モジュールと交換するまで、障害が発生した電源モジュールをスロットに保持することを推奨します。この推奨事項を行うことにより、システムのエアフローが悪影響を受けず、ルータとそのコンポーネントが過熱する可能性を回避します。

サポートされる電源ユニットは次のとおりです。

- PSU650W-ACPI : 650W AC、ポート側吸気エアフロー
- PSU650W-ACPE : 650W AC、ポート側排気エアフロー



(注) 取り付けにはデュアル ポール ブレーカーが必要です。推奨されるブレーカーサイズを決定するには、地域および国の規則および規制に従ってください。ブレーカーのサイズは、消費電流と指定された電圧レベルに対する製品の仕様に基づきます。

ステップ 1 AC ケーブルが適切な AC 電源とコンセントタイプに取り付けられていることを確認します。

ステップ 2 AC 電源モジュールのケーブルコネクタに AC 電源コードを接続します。

ステップ 3 ケーブルクランプの開口部にケーブルを通します。

ステップ 4 ケーブルクランプをプラグに向けてスライドさせます。

ステップ 5 電源ケーブルの接続部をケーブル クランプで締めて電源ケーブルを固定します。

図 8: AC 電源の接続 : Cisco 8102-64H

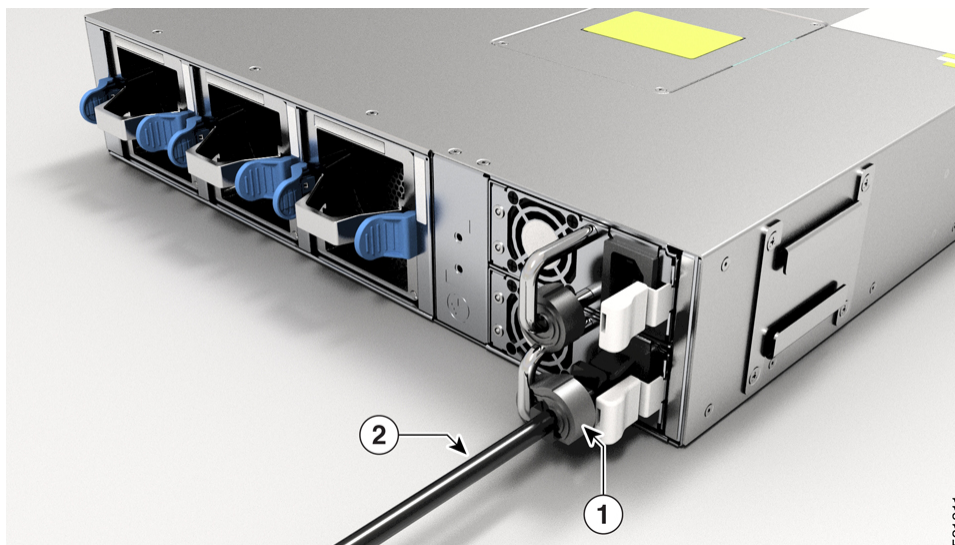
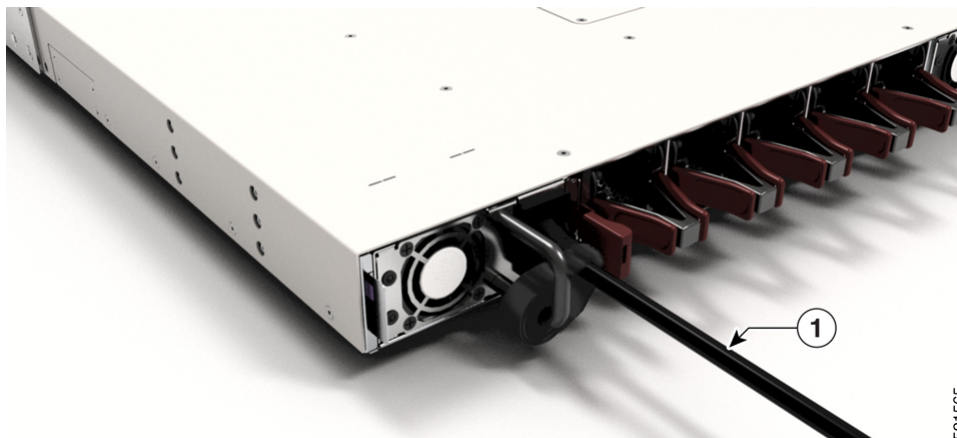


図 9: AC 電源の接続 : Cisco 8101-32H



1	ケーブルクランプ	2	AC 電源コード
---	----------	---	----------

(注) これらのルータは、隣接デバイスが完全な動作状態にある場合、30分以内に起動するように設計されています。

シャーシへの DC 電源の接続



注意 シャーシは、短絡、過電流、および地絡から保護するために、設置する建物の保護装置に依存します。保護デバイスが地域および国の電気規則に準拠していることを確認してください。



(注) 固定ポートルータの両方の電源スロットに電源モジュールを取り付けることを推奨します。電源モジュールに障害が発生した場合は、新しい電源モジュールと交換するまで、障害が発生した電源モジュールをスロットに保持することを推奨します。この推奨事項を行うことにより、システムのエアフローが悪影響を受けず、ルータとそのコンポーネントが過熱する可能性を回避します。



(注) サポートされている出力 DC 電源は 930 W です。930 W の完全な出力電力を提供するため、公称電圧定格値は、さまざまな国の基準に応じて、-48 ~ -60 V となります。

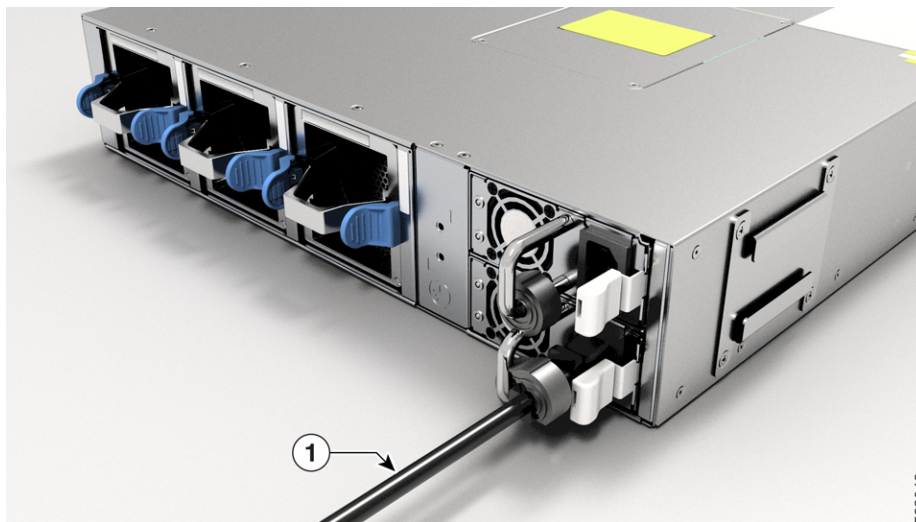
次の電源の組み合わせがサポートされています。

- PSU930W-DCPI : 930W DC、ポート側吸気エアフロー

- PSU930W-DCPE : 930W DC、ポート側排気エアフロー

- ステップ 1** 上部のマウントスペースに正しいヒューズパネルが取り付けられていることを確認します。
- ステップ 2** DC回路の電源がオフになっている（ブレーカーがオフになっているか、またはヒューズが抜かれている）ことを確認し、適切なロックアウトタグアウトの手順に従います。電源に付属のケーブル（PID : PWR-2KW-DC-CBL）を使用します。電源コードはシスコから別途購入できます。
- ステップ 3** 現地の規則に従って電力を調整します。
- ステップ 4** ヒューズパネルの工業規格に従って、オフィスバッテリーと帰線ケーブルを接続します。
- ステップ 5** DC コネクタを電源モジュールの DC レセプタクルに差し込みます。

図 10: DC 電源の接続 : Cisco 8102-64H



1	DC 電源ケーブル
---	-----------

- ステップ 6** ケーブルを固定するロック機構がかみ合っていることを確認します。
- ステップ 7** 電源で回路ブレーカーをオンにします。

(注) これらのルータは、隣接デバイスが完全な動作状態にある場合、30分以内に起動するように設計されています。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。